令和元年度 スポーツ・インテグリティ推進事業研修会

令和2年2月6日（木）サンセール盛岡にて、一般財団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構 代表理事　武藤芳照氏（東京大学名誉教授/東京健康リハビリテーション総合研究所所長）を講師に迎え、競技団体・市町村協会・総合型スポーツクラブの経営・運営担当者による研修を開催しました。

●研修1「相談窓口の体制と機能強化」について

〔研修ポイント〕

- 「相談窓口」には、『話し合う』、『専門家などの意見を聞く』、『助言を求める』という3つの要素が必要。
- 初めての方に『傾聴』すること。
- 制度構築のため、「窓口」を周知すること、相談内容に守秘義務を課すこと、相談者への不利益な取り扱いを禁止すること。
- 『遅れず 隠さず ごまかさず』対処すること。

●研修2
「スポーツ団体ガバナンス・コードに関する対応について－スポーツの価値を守るために－」

〔研修ポイント〕

- スポ根（スポーツ＋根性）➡スポコン（スポーツ・コンプライアンス）への変化が求められていること。
- スポーツ界の様々な「ひずみ」を無くし、特に若年層へ『スポーツの価値』の意識を高める教育が必要であること。
- スポーツ団体ガバナンスコードにより求められるポイントの理解が必要であること。

なお、研修会では、『みんなのスポーツ・コンプライアンス入門』が各団体に1冊ずつ寄贈されました。本書は講師の武藤芳照先生が代表理事を務めます教育振興機構監修の入門書であり、今回は本協会スポーツ医・科学委員長の菅義行先生より寄贈いただいたものです。

是非ともご一読のもとスポーツ・インテグリティ推進のため活用いただきますよう、併せてお願いいたします

【寄贈者：菅 義行先生】